

# **(株) 東北サファリパーク・エビスサーキットからのご提案**

**(株) 東北サファリグループ**

**代表取締役 熊久保信重**

## **(株) 東北サファリグループが考える“二本松とのコラボレーション企画”の取り組み**

### **1. 県内特化型**

**動物を使った学習と東北サファリパークを地元の方が気軽に楽しめる「動物公園」化  
福島県には公立動物園が無く、動物施設は二本松市と、いわき市のアクアマリン水族館のみ。**

### **2. 国内特化型**

**菊人形の民間企業出展及び連携**

### **3. 世界特化型**

**エビスサーキットを利用した、外国人観光客誘致**

**エビスサーキット及び周辺施設一体の、プロスポーツトレーニング誘致及び「特区」**

### **4. 二本松市インバウンドとアウトバウンドを組み合わせた、国際文化交流**

## 1. 県内特化型

### 動物を使った学習

上記同様に県内では公立動物園がなく、県内の子供達の動物学習が不足しています。

そこで当社を利用した、動物学習カリキュラムを作成し、市内及び県内の子供向達に生きた教材を使った動物教育（アニマルホームルーム）を行っています。

また同時に、教員向けの動物の知識・扱いを教える、「アニマルティーチャーズコース」も企画致します。

### 動物学習カリキュラム（アニマルホームルーム）

3年前より市内幼稚園協力のもと、動物をもちこみ年4回の動物教育（アニマルホームルーム）を実施。

### 教員向けアニマルティーチャーズコース

長期休暇中（夏休み・冬休み）を利用して、学校内で子供に動物を教える為の、教員向け動物基礎知識講座を行います。

※既に横浜市ではズーラシアを利用、東京都は多摩動物園にて昆虫講座を開催しています。

講座内容 動物のさわり方・動物の部位の説明・動物の食事・動物の科目

### 象を使ったエレファントカリキュラム（国内特化型）

直接ゾウに触れて勉強できるのは国内で当園のみ。現在当社はラオスにゾウキャンプを保有し、ラオス政府公認のもとゾウの種の保存やゾウを使った職業の維持を行っています。

## **東北サファリパークを地元の方が気軽に楽しめる「動物公園」化**

**福島県には動物園と呼ばれる大小様々な動物を飼育・展示をしているのは東北サファリパークのみです。**

**動物とのふれあいは老若男女を問わず、癒し・学習に欠かせないものと考えます。**

**そこで、今後東北サファリパークは、二本松市民及び福島県民の動物公園として、**

**多くの地元の方々に愛される園になれるよう努力をしていきます。**

**震災後すでに行っているイベントに加え、今後多くの企画を実施し地元の方々に楽しんで頂きます。**

**以上の動物公園化及び2つの教育カリキュラムを融合させた園づくりを進めています。**

**これにより、県内各地からの教育機関の二本松市の選択が増えます。また動物公園化により県民の二本松市へ足を運ぶ機会が多くなると考えられます。結果的には、人が動くことにより、食・移動・宿泊と様々な経済効果も期待できると考えます。**

## 現在行っている、動物を使った教育及び動物公園化計画

2018年度 周知検証期間 各学校向けに当園にて、アニマルホームルームの体験会を実施。  
(各教育委員会様などと相談の上、テスト開催 10/31 開催)

2019年度 学校(団体)向け動物施設化開始  
アニマルホームルームを組み込んだ、校外学習プランを開始。

2020年度 市民(個人)向け動物公園化開始  
サファリパークを除いた施設の動物公園化の開始。

2021年度～ 県民(個人)向け動物公園化にむけて。

※検証や実施内容により、前倒し実施の可能性あり。

## 2. 国内特化型

### 菊人形の民間企業出展及び連携

二本松と言えば菊人形とまで言われていましたが、現在は徐々に来場者が戻りつつあるも規模も縮小して、以前のような活気が無いのが現状です。

私ども企業としても、以前のような活気のある菊人形、そして地元観光業と連携が取ることにより二本松市に大きな経済効果をもたらす菊人形になると思います。

そのような菊人形開催に向け、私たち地元企業をもっと有効に利用して頂き、企業が有益な菊人形にできればと思います。

3年前より民間出展社としてスペースを購入し、菊の飾り（象など）とふれあい動物園を開催し、民間企業として宣伝広告の場として利用させていただいております。

今後は市内及び県内出展者を多く募り、目玉になる菊人形を展示してもらうことにより、展示物の増加及び出展収入増にもつながり、最終的に規模の大きな菊人形開催が可能になると思われます。

※幕張メッセにて毎年1月に開催される、“東京オートサロン”を参考にしています。

## 菊人形をもう一度日本の誇る菊人形にするためには？

### (1) . 民間出展社を募り、菊人形会場を企業の宣伝広告に活用してもらう

出展ブースとして小間売りをし、出展条件として1社1体以上の菊人形を展示する。

来場者に各出展社の展示物を投票してもらい順位付けを行う。出展者は出展ブースにおいて展示物のインパクトで会社をアピールでき、また来場者に来たお客様に対し直接宣伝活動ができる。コンテスト形式にすることによりメディア露出が増え、広告宣伝としての費用対効果を見込める。

### (2) . 二本松市・菊栄会のメリット

民間出展を有料で行うことにより出展料収入が見込めて、運営費や広告費などの予算増につながる。

出展者の作品展示により、造形や菊付け等の収入増加が見込める。

出展者が増えることによりメディア露出も増え、注目度も上がり来場者の増加が見込める。

### (3) . 来場者

民間出展社の展示物や投票により来場目的も増え、また開票時や次年度の出展物への期待感も高まり、来場回数が増えることも期待できると思われる。

### 3. 世界特化型

エビスサーキットや周辺施設（観光道路・温泉他・飲食店）を利用した、外国人観光客誘致

すでにエビスサーキットでのドリフト観光は世界各国の方に楽しんでいただいております、それに伴った宿泊・食事等の経済効果は表れていると思われまます。また昨年より新たな試みとして、県内観光道路をバイクで走行をしながら、宿泊・食事・観光を楽しむバイクツーリングに力を入れています。2018年度は約2800台（日本人のみ）のバイクが集まりました。次年度よりこのツーリング企画を東南アジア各国からのインバウンドとして確立すべく、現在各国関係者と話し合いを行っています。

現在のドリフト観光の効果、

平均予算（平均滞在7～10日間） 1人／1回／400,000円 × 1000人 = 4億円

内訳 渡航費／10万円 走行料金／5万円 燃料・消耗品／10万円 宿泊・食事／15万円  
渡航者割合 オーストラリア80% ヨーロッパ10% アメリカ・ロシア・アジア・アフリカ・中近東10%

となっており、今後海外からのバイクツーリング客誘致を行うことにより、現在までのドリフト観光客年間1000人を大きく超えることが予想されます。

よって、渡航者のサーキット利用以外の観光誘致、飲食店案内、宿泊案内の英語版二本松観光案内の作成や英語版周辺地図の作成を希望致します。 またバイク向け施設やサービスの提供を希望いたします。





## **エビスサーキット及び周辺施設一体型の、プロスポーツトレーニング誘致及び「特区」の提案**

上記エビスサーキットの外国人来場者に伴い、現在はプロを目指す世界中のドライバーが技術の習得に訪れています。また福島県は世界的にも珍しいエクストリームスポーツのメッカとして、世界に名だたるエクストリマーが在住する地域でもあります。

今後この福島県を世界に誇るエクストリームの聖地として作り上げる目標を掲げます。

エクストリームスポーツとは通常のスポーツと違い、“格好良さ”を重視したスポーツ。世界的な企業が宣伝効果を期待してスポンサーをこぞってするカテゴリー。世界の中心はアメリカ。

その中でも、福島県をベースに世界的に活動するエクストリマーが多く、その技術を習得に海外から多くの外国員が訪れています。

海外から技術を習得に二本松市及び福島県に来る外国人向けの環境整備を行い、世界的なエクストリームスポーツのトレーニング地域として確立させることにより、滞在期間も大きく伸びて、経済効果も増加すると思われま

す。

## エクストリーム特区について

トレーニング環境や施設の充実等の環境整備を行うと同時に、長期で外国人がトレーニングを行う為に現在の外務省が発給するビザでは、トレーニングとしては長期滞在ができません。

スポーツで日本に長期滞在するには

留学、ワーキングホリデー（30歳未満）・在留資格を取って就職、

プロスポーツ選手としてのアスリートビザ（企業などが定額の契約金支払い証明が必要）

コーチングビザ（コーチとしての収入が証明させる物の提出及び受け入れ先の証明が必要）

であり、自分の資金で自分が支払ってトレーニングのために長期滞在出来るビザが存在しません。

現在トレーニング及び技術習得に訪れる外国人は、観光ビザで入国し1渡航最大90日（1年最大180日）の滞在で、何度か国外に出なければいけないのが現状です。

東南アジアに関しては15日がほとんど。

そこで今後トレーニングに来るという理由から、何らかの長期滞在ビザ（最大1年）を発給出来る

「エクストリーム特区」をここ福島県でできないかと模索中です。

#### 4. インバウンドとアウトバウンドを組み合わせた国際文化交流都市づくり

現在二本松市や福島県は外国人観光客誘致（インバウンド）に積極的で、エビスサーキットの要望を多く聞き入れていただき、来市した外国人観光客からは非常によい言葉を頂いています。

今後は今まで培ってきた海外からのお客様、そして二本松市として交流のある海外都市などともより深く交流を深め、インバウンドだけではなくアウトバウンドにも力を入れ、二本松市からも世界へ足を運んでもらい、相互観光交流を深めていくことが、海外を知り海外からの観光客誘致につながると思います。

その為には既存の交流都市に加え、二本松市に拠点を置く民間企業とつながりのある諸外国企業や地域との連携を作り上げて、インバウンド及びアウトバウンド交流を深めて行くことが、他の自治体に負けないインバウンドになると思われます。